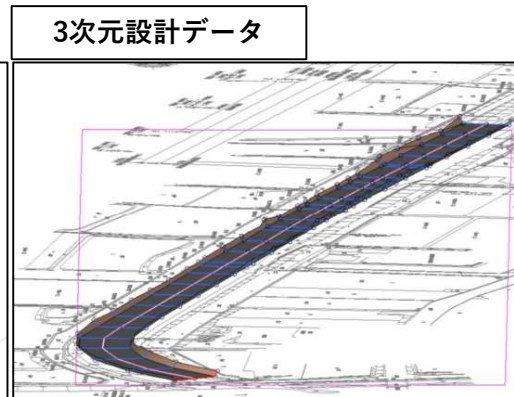
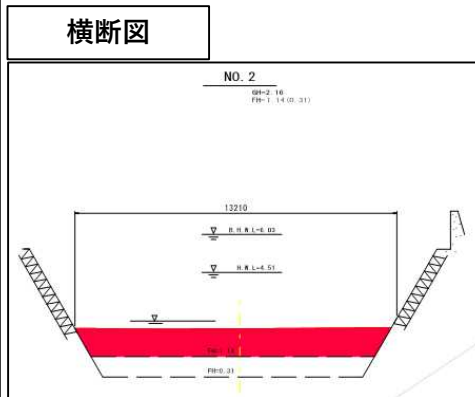
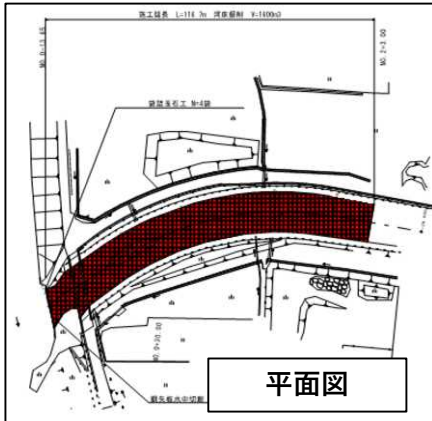


令和4年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（有限会社共伸建設）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容> 導入機器：自動追尾型TS（杭ナビ）、自動追尾型TS搭載ショベル（杭ナビショベル）

<参加者> 8名（建設会社：4社4名、県職員：2名、市町村職員：2名）

<工事概要> 工事名：広域第2-9号 波介川（火渡川）広域河川改修工事
 請負代金：73,689,000円、工期：令和4年11月9日～令和5年3月29日
 工事内容：施工延長L=117m、河床掘削V=1600m³



プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価	施工者のコメント
3次元起工測量	-	-	-	-	-	今回導入したマシンガイダンスは本現場で初めて使用し、3次元設計データの作成を含め準備作業に手間取る部分もあったが、作業は現場技術者、重機オペレーター共に手際よく進行出来た。今後は3次元起工測量などにも取り組み、更にデジタル化を進めていきたい。
3次元設計データ	内製化	2人・工	3人・工	150%	今回が初めての為、手間取ったが今後はかなり短縮出来る見込みである	
ICT施工	杭ナビ・マシンガイダンス	11人・日	8人・工	-27%	期待以上の結果。マシンガイダンスによって出来形管理に要する時間が短縮出来た。	
3次元出来形管理	杭ナビ・快速ナビ	2人・日	1人・工	-50%	測量機器の移動の手間が削減でき、スピードアップに繋がった。	
合計	-	13人・工	11人・工	-15%	今後のスキルアップで更に改善が可能	

発注者のコメント

今回導入したICT機器を用いて、ICT活用工事を実施した。建機のマシンガイダンス機能により、丁張無しで手際良く掘削できたことや、自動追尾型TSにより、測量機器の据え付け手間を削減できたことが、現場の省人化に繋がっている。今回工事では、3次元設計データの作成に時間を要したが、これから慣れていくことで更なる生産性の向上が見込まれる。